

2021年9月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

新しい職場への不安「人間関係は円満か」が最多6割

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/09/01～2021/09/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2021/09/02～2021/10/05(34日間)

調査方法

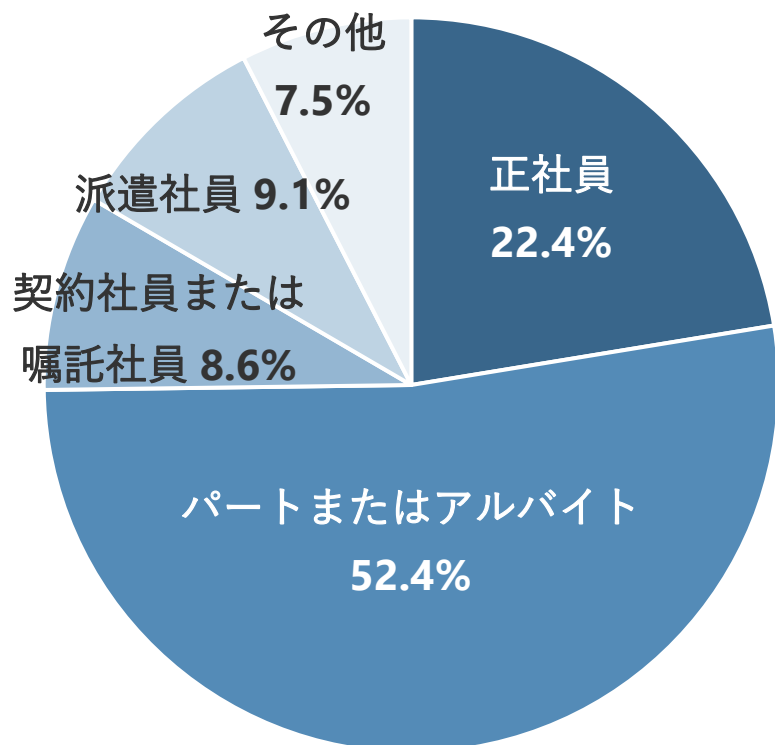
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

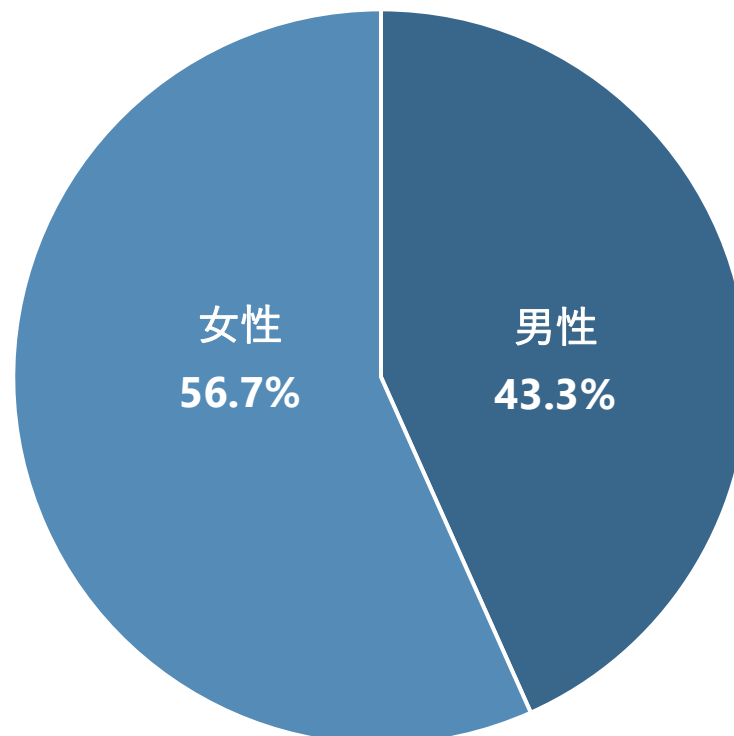
- ▶464件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



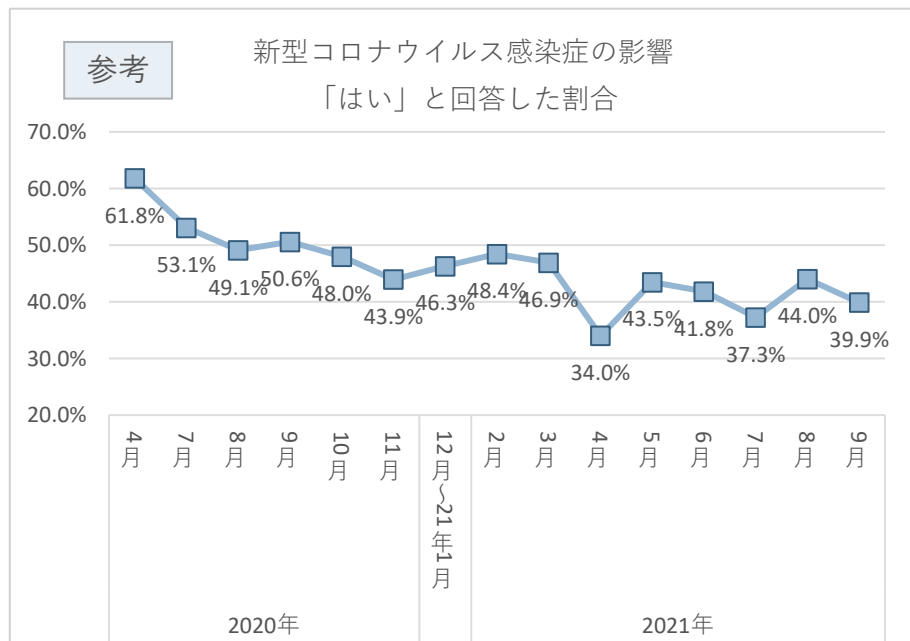
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

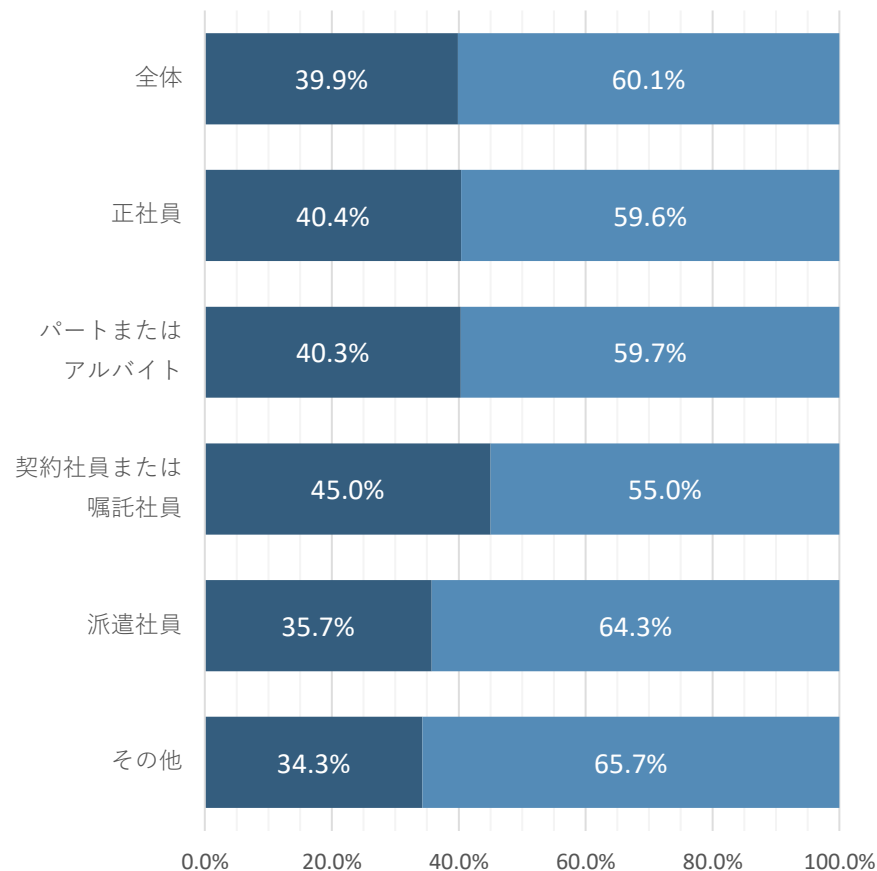
全体で39.9%が「はい」と回答し、約4割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。2021年5月以降は4割前後を推移し続けている。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「はい」は「契約社員または嘱託社員」の45.0%が最も高くなった。「正社員」と「パートまたはアルバイト」では約4割で、全体と同程度となった。



今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ

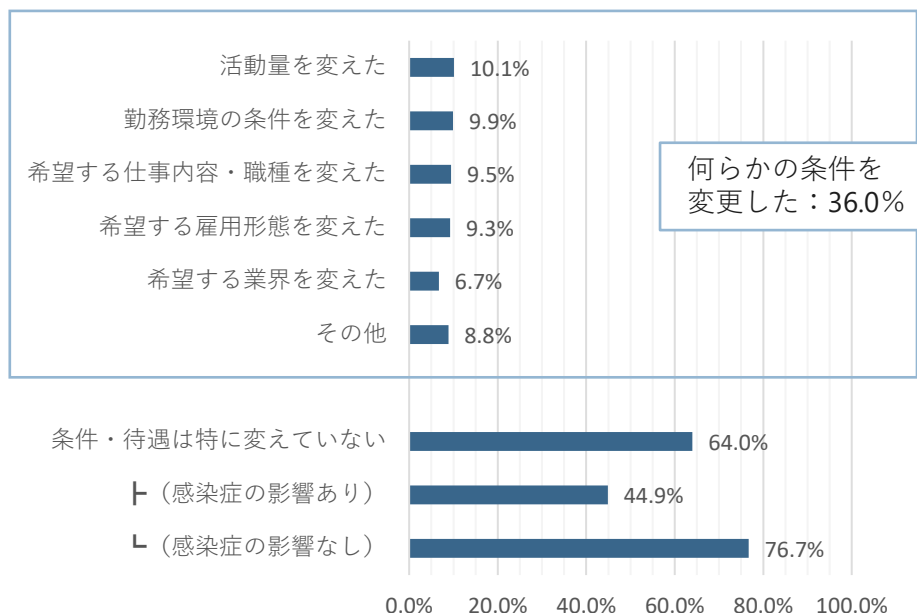


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」36.0%、「条件・待遇は特に変えていない」64.0%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が6割超となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「活動量を変えた」で10.1%、次いで「勤務環境の条件を変えた」の9.9%、「希望する仕事内容・職種を変えた」が9.5%となった。自由意見には、これまで経験のある職場で感じていた不安や不満を払しょくできる職場を探している人が多くみられた。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人となない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が44.9%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（76.7%）より31.8pt低くなっており、半数が目にする条件・待遇を見直したと回答した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



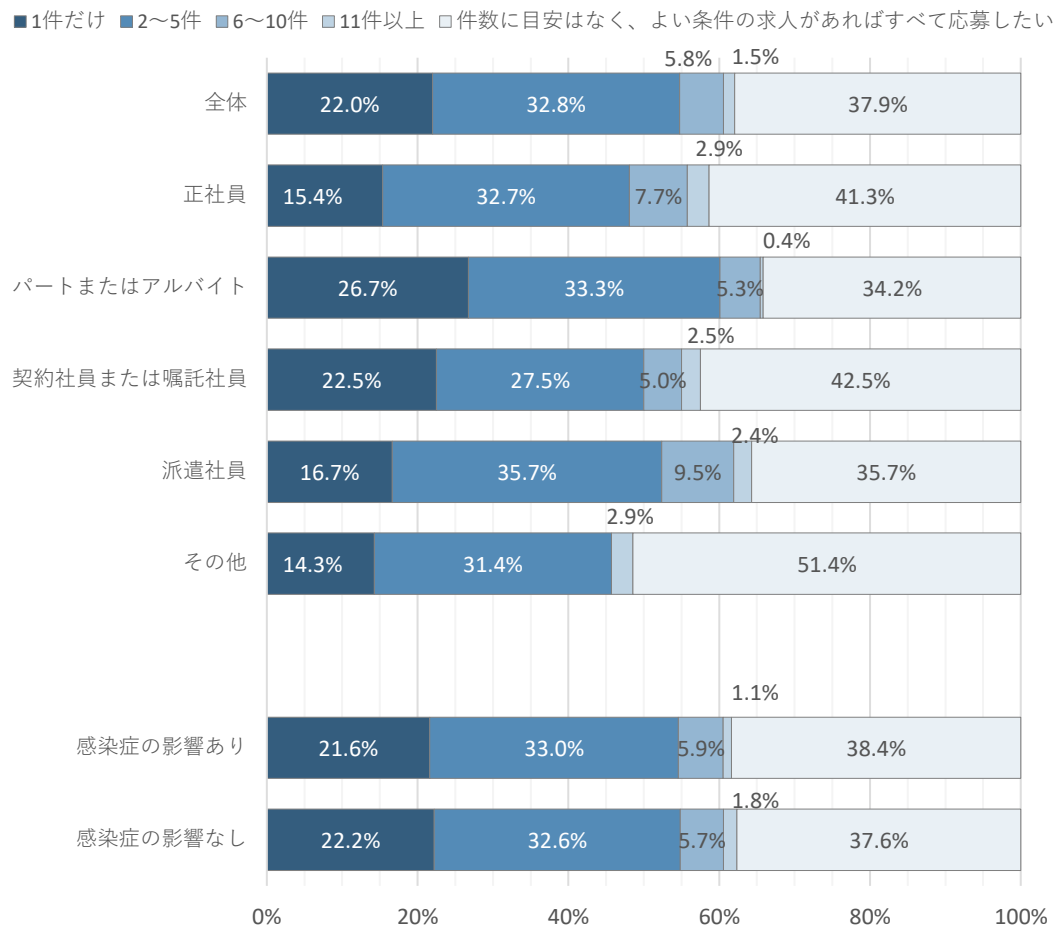
見直した条件	性別	年齢層	自由意見
希望雇用形態 パートまたはアルバイト	女性	20代	自分の本業に支障がないと思い、アルバイト希望で探しました。
希望雇用形態 正社員	男性	40代	希望給与額を下げたり、いわゆる3Kの仕事を選んだりしてます。
希望雇用形態 派遣社員	女性	40代	飲食店など時短要請、休業と何度も繰り返していく中、接客を伴うパート・アルバイトではなく、緊急事態宣言にあまり影響のない企業に就職がしたいと思った。
希望雇用形態 正社員	女性	50代	前職は社会保険が無かった為、社会保険完備の職場を考えました。
希望雇用形態 契約社員または嘱託社員	男性	50代	これまでシフト勤務が泊まり及び夜勤であったのが、日勤業務が多くなっている為転職したい。
希望雇用形態 契約社員または嘱託社員	男性	60代	以前の会社は賃金は非常に良かったが人間関係は劣悪であった。多少賃金が下がっても人間関係に煩わされない職場を探している。

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、応募する件数に目安があるかどうか聞いた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く37.9%、次いで「2～5件」が32.8%、「1件だけ」が22.0%、「6～10件」が5.8%、「11件以上」が1.5%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は41.3%となった。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」が26.7%で、正社員希望者よりも10pt以上高かった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみたが、当月では目立った差がみられなかった。感染症の影響の有無は関係なく、約4割の人は「よい条件の求人があればすべて応募したい」としている。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

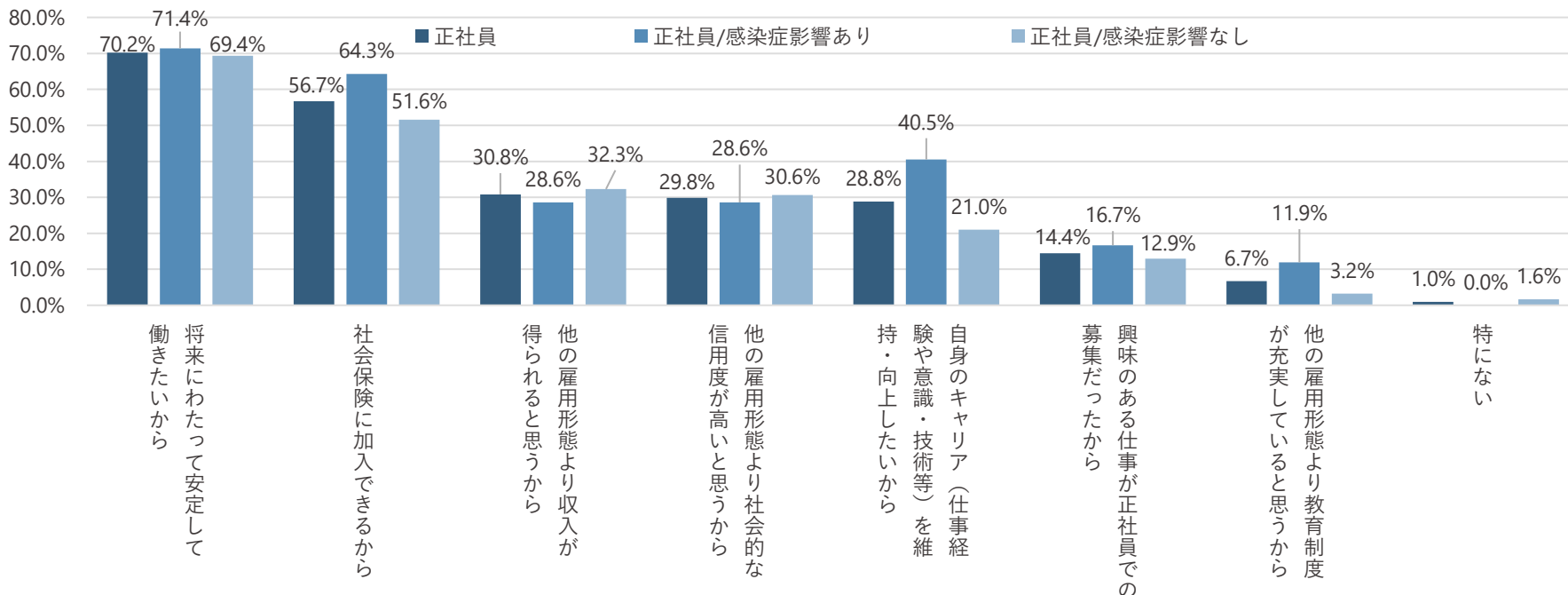


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で70.2%、次いで「社会保険に加入できるから」が56.7%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が30.8%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」で19.5pt、「社会保険に加入できるから」で12.7pt、「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」で8.7pt高くなった。キャリアに関しては約2割と大きく差があり、また教育制度も重視していることから、将来の職業人生も見据えた仕事選びを意識していることがわかる。社会保険加入については8月調査時から引き続き差が出ている。

一方、「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「他の雇用形態より収入が得られると思うから」で3.7pt高かった。「感染症影響なし」の方が5pt以上高くなった項目はなかった。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



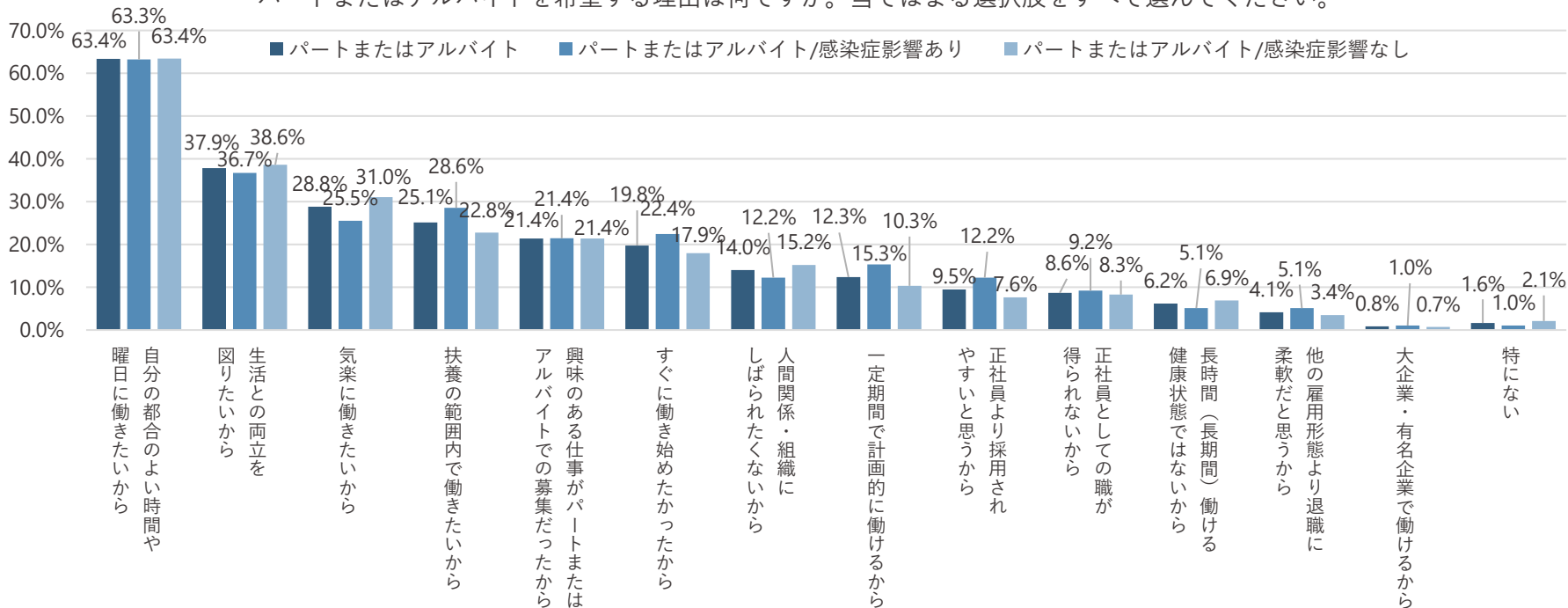
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で63.4%、次いで「生活との両立を図りたいから」が37.9%、「気楽に働きたいから」が28.8%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人と比べて、「扶養の範囲内で働きたいから」は5.8pt、「一定期間で計画的に働けるから」は5.0pt高くなった。収入額や活動期間を決めて仕事を探している人が多いようだ。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「気楽に働きたいから」が5.5pt高くなった。比較的、心や体に余裕を持たせた働き方を望んでいる傾向がみられる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



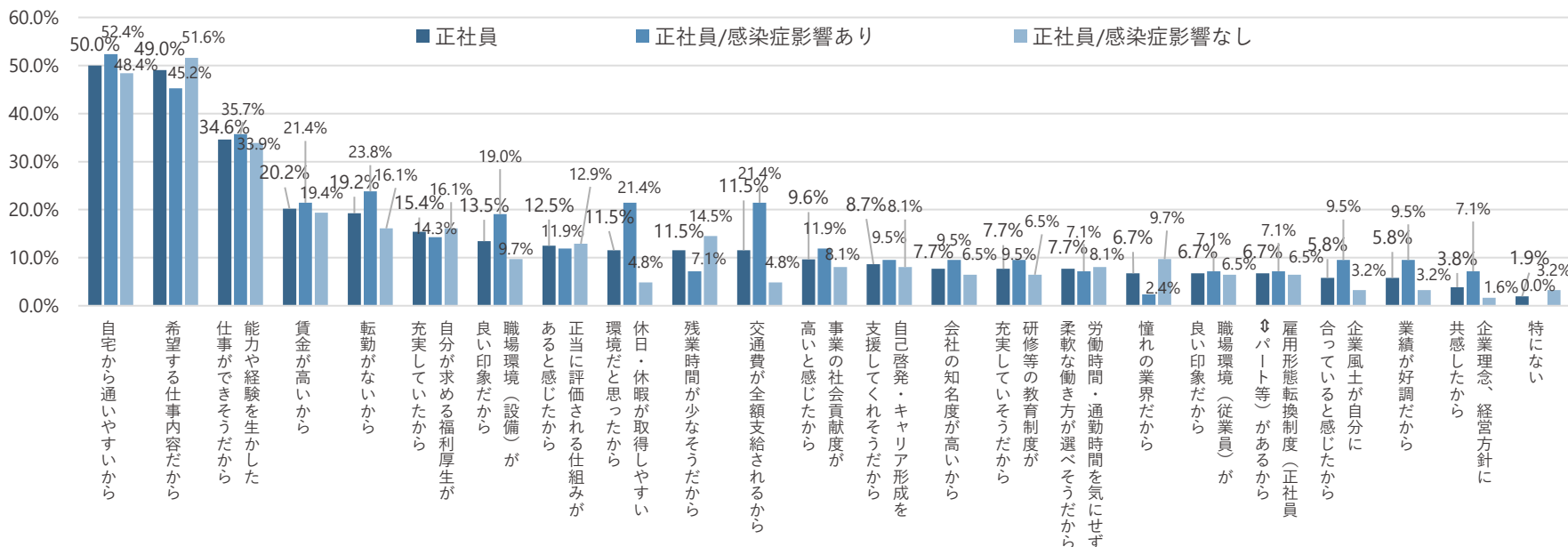
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」の50.0%、次いで「希望する仕事内容だから」が49.0%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が34.6%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」と「交通費が全額支給されるから」が16.6pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が9.3pt高かった。希望に合わせて休みが取得しやすい職場がより選ばれたようだ。設備の一部として、感染対策が整っていることも支持を集めている。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「残業時間が少なそうだから」が7.4pt、「憧れの業界だから」が7.3pt、「希望する仕事内容だから」が6.4pt高かった。かねてからの希望の業界や仕事を重視する人がより多いようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

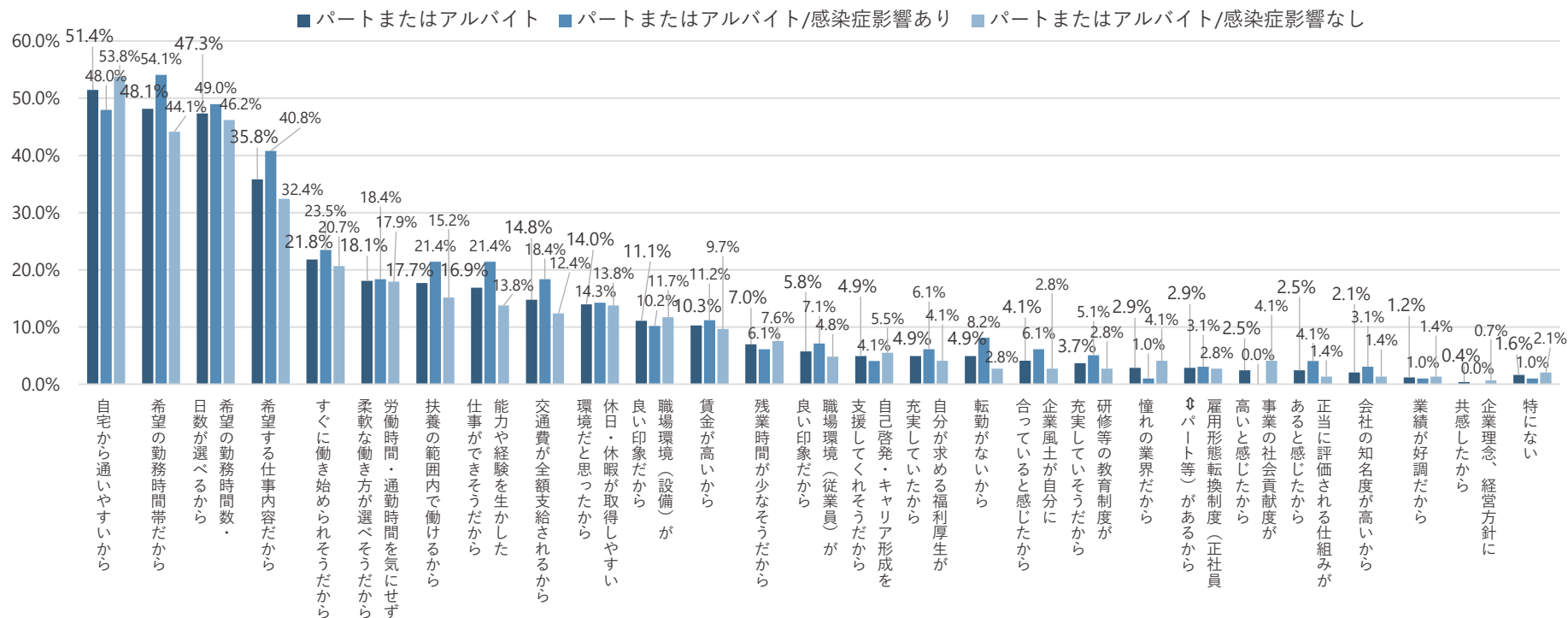


求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で51.4%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が48.1%、「希望の金時間数・日数が選べるから」が47.3%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望の勤務時間帯だから」が10.0pt、「希望する仕事内容だから」が7.7pt、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が7.6ptが高くなった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



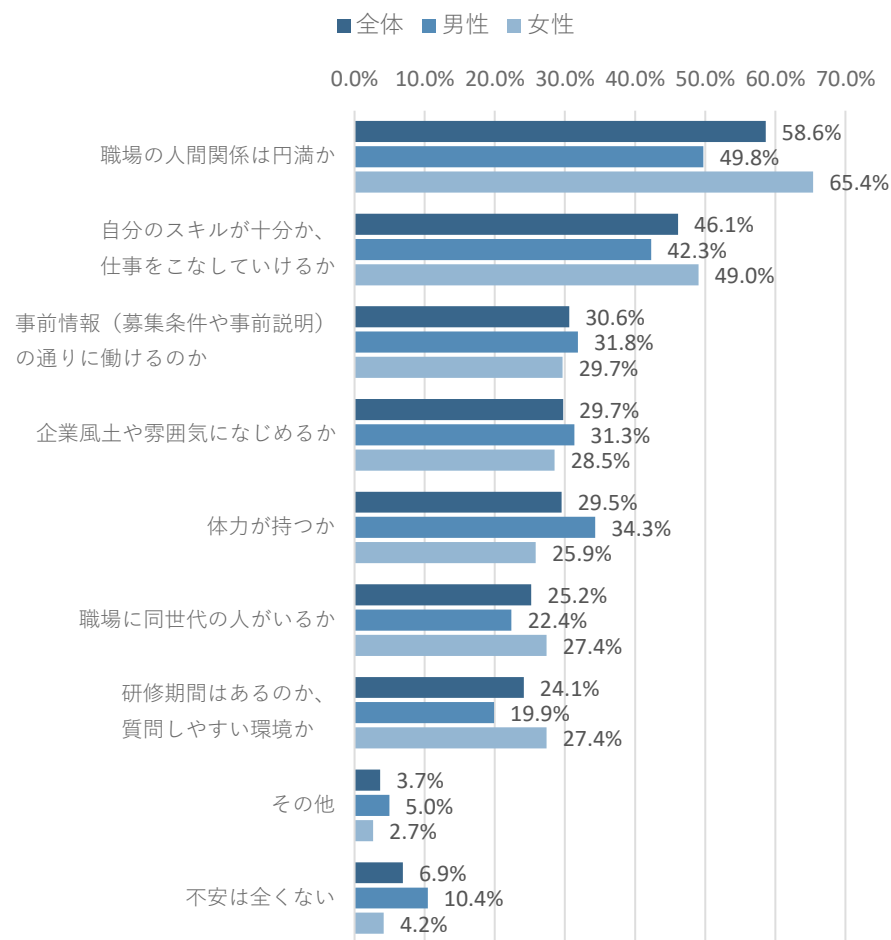
イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、新しい職場で働くにあたり不安に感じることがあるか聞いた。

全体では「不安は全くない」は6.9%となり、93.7%の人が何らかの不安を持っていることが明らかになった。最も多かったのは「職場の人間関係は円満か」で58.6%、次いで「自分のスキルが十分か、仕事をこなしていけるか」で46.1%、「事前情報（募集条件や事前説明）の通りに働けるのか」が30.6%となった。

性別にしてみると、「体力が持つか」については男性の方が不安に思っている割合が高かった。これは選んだ仕事内容自体に筋力・体力が必要になる職種を選ぶ人が、元々女性より多いことも影響していると考えられる。

また、「職場の人間関係は円満か」「自分のスキルが十分か、仕事をこなしていけるか」「研修期間はあるのか、質問しやすい環境か」の項目では、女性がより不安に感じている傾向がみられる。特に人間関係に関しては男性と比べて15.6pt高くなっている。仕事選びの理由（P9~P10）では「職場環境（従業員）が良い印象だから」は上位に挙がってこなかったが、いざ勤めるとなった場合には大きな不安のタネになるようだ。

新たな職場で働くにあたり、不安に感じていることはありますか？



P11の不安の有無について、何らかの不安が「ある」と回答した人に、その不安を払拭するために勤め先に求めることは何か聞いた。

最も多かったのは「当面のスケジュールを早い段階で教えてほしい」で42.4%、次いで「研修期間をきちんと設けてほしい」で39.6%、「出来なくても待ってほしい」で31.7%となった。職務を覚え、そつなくこなせるようになるまでの期間の目安や目標となる期日を伝え、ゴールを共有することが、とくに不安解消につながるという結果になった。

性別でみると、男性では女性より「新規入職者（あなた）が来ることを既存スタッフに事前に周知してほしい」が10.3pt、「休憩時間は積極的に声をかけてほしい」で9.4pt、「懇親の場を設けてほしい」で6.0pt、「勤務中は積極的に声をかけてほしい」で2.7pt高かった。声掛けや同僚とのコミュニケーションによって不安が軽減する人が多いようだ。

女性では男性より「教育係や相談係をつけてほしい」が3.2pt高くなった。「研修期間をきちんと設けてほしい」についても若干高く、きっちりと仕事を教わったり疑問や質問を尋ねられる環境を求めているようだ。不安に思う項目でも「研修期間はあるのか、質問しやすい環境か」が男性よりも多くついており、教育環境を設けることが不安払拭につながるようだ。

新たな職場に入社する際の不安を払拭するために、勤め先に求めることは何ですか？

